

5 第12回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 22年度献血推進計画に盛り込まれた事業の取組予定

①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>・高等学校における献血のより一層の協力依頼および普及啓発 (校長会に出向いて依頼)</p>	<p>・教育委員会</p> <p style="text-align: right;">福井県</p>
<p>・印刷物を保健所、市町村、関係団体企業に配布。 ・血液センターのホームページでの告知。</p>	<p>関係団体企業、市町村、血液センター</p> <p style="text-align: right;">岐阜県</p>

静岡県

<p>○愛の血液助け合い運動月間及びはたちの献血キャンペーン期間中に、県広報局が持っている民法ラジオ（AM、FM）放送枠を利用して啓発する。</p> <p>○1月から3月にかけて、民法ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中でテーマとして取り上げる。</p>	<p>県広報局、県内ラジオ局</p>
--	--------------------

愛知県

<p>記者発表 ホームページへの掲載 啓発資材への掲載 県下の全高等学校に対して通知及び依頼を行う</p>	<p>報道機関 啓発資材の配布先団体（市町村、血液センター等） 県、市各教育委員会</p>
---	---

愛知県赤十字血液センター

<p>県下の高校に対して、愛知県献血推進担当部局と対応した上でPR広報を行う。場合によっては高等学校をはじめ各種学校を訪問して協力を依頼する。</p> <p>若年既献血者には改正内容を伝えるPR用パンフレットを配布・郵送して理解と協力を呼びかける。</p>	<p>愛知県献血推進担当部局と連携して、県教育委員会・名古屋市教育局の協力を仰ぎながら、各学校へ改正内容についての理解と献血協力を依頼する。市町村に対しても研修会等の機会を通じて改正内容についての理解と献血者への働きかけをお願いする。</p>
--	---

三重県・三重県赤十字血液センター

<p>ポスター・チラシ等を作成し、各市町および事業所へ配布するとともに、献血キャンペーン時に県民に対して呼びかけを行う。</p>	<p>各市町・事業所等</p>
--	-----------------

滋賀県

<p>17才男性への400mL献血の必要性和安全性についての啓発の実施。</p> <p>献血者の安全性を考慮した基準の改正についての啓発</p>	<p>滋賀県教育委員会・県内県立高等学校の協力を得て、授業の中で献血啓発を実施する手段の検討。</p>
--	---

<p>① 府の機関紙やホームページへの情報掲載、広報物品を活用しての告知。</p> <p>② 『日赤大阪』への情報掲載。</p> <p>③ 校内における高校生献血推進の強化。</p> <p>④ 55歳以上の男性の成分献血者に対して、血小板成分献血が可能になる旨、広報。</p>	<p style="text-align: right;">大阪府</p> <p>① 市町村、市町村献血推進協議会、府教育委員会等</p> <p>③ 大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会</p>
--	--

<p>今後作成するリーフレットに登載配布、市町広報での周知依頼及びメディアの活用等により機会を捉えて、広く周知する。</p>	<p style="text-align: right;">兵庫県</p> <p>市町、日赤、報道（放送）機関</p>
--	---

<p>事前に血液センターが作成するポスター、リーフレットによる周知及びメディアの活用</p>	<p style="text-align: right;">兵庫県赤十字血液センター</p> <p>県、市町、報道（放送）機関</p>
--	---

<p>パンフレットやリーフレット等を作成して、改正内容を広報。報道機関にも資料提供を検討中。（県事業）</p>	<p style="text-align: right;">奈良県</p> <p>血液センター 奈良県献血推進協議会・市町村・高等学校等</p>
---	--

<p>・県広報誌「県民の友」、ホームページへの掲載及びリーフレットの作製。（県）</p> <p>・血液センターホームページへの掲載及びリーフレットの作製。（血液センター）</p>	<p style="text-align: right;">和歌山県</p>
---	--

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての規制や連携・協力先 (都道府県における規制について記載願います。また、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
富山県	
<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターの親子見学会（低学年） ・親子連れの献血での落書き帳の配布（幼児） 	<p>小学校教育現場への働きかけ。</p>

	<p style="text-align: right;">静岡県</p> <p>(託児施設を設置することについて県子育て支援課に確認)</p> <p>○不特定の者(幼児)を預かって保育をするのであれば認可外保育施設として届出が必要であるが、自施設の顧客に対してのみ行う場合、届出義務はない。ただしそのような施設に対しても県に監督義務があり定期的な監督を行うので、県へ情報提供として届出をお願いしている。</p> <p>(※静岡市内、浜松市内の施設については、各市へ届出)</p> <p>○保育を実施するにあたっては保育する人数、時間によって人的要件がかかる(最低2名、うち保育士1名)が、1時間程度子どもを預かる状況でそこまで必要か検討する必要があるので、どのような形態で行うのか決まり次第相談してほしい。</p>
--	--

<p>該当なし</p>	<p style="text-align: right;">愛知県</p> <p>「許可外保育施設に対する指導監督の実施について」(平成13年3月29日雇児発第177号)の他は、県単独の規制はありません。</p> <p>県、政令市、中核市等の保育指導係</p>
-------------	--

愛知県赤十字血液センター

既存施設では、新たにキッズスペースを設ける場所がないところが大半である。今後新規開設することがあれば、キッズスペースを考慮したものとする。

成分献血者の場合は、所要時間が長いことから親子がふれあえるよう、子供が献血者のそばに居られるよう配慮しているが、さらに採血中の時間も楽しめるDVD等を用意する。

滋賀県

キッズスペースで一時預かりを行う場合は、児童福祉法に定める「保育所の一時的預かり事業」として児童福祉施設最低基準に基づき、届け出が必要となりますが、県独自の規制はありません。

大阪府

平成22年9月1日にオープンした「まいど なんば献血ルーム」において、キッズルームを設置し子供連れの献血者の確保に努めている。

日本赤十字社大阪府支部

兵庫県赤十字血液センター

平成22年1月23日に開設した新長田出張所においては、キッズルームを設け、子育て中の女性や子供連れの献血者の確保に努めている。

③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
--	---

<p>小学生（高学年）を対象とした親子体験学習と見学会。</p>	<p>石川県 県及び市教育委員会、校長会</p>
----------------------------------	------------------------------

<p>・県支部との共催し、小中学生を対象とした血液センター見学会の開催 ・献血出前講座の実施</p>	<p>福井県 ・教育委員会</p>
--	-----------------------

<p>県職員による出前講座のメニューのひとつに献血をあげ、県民の要望に応じて出前講座を実施。</p>	<p>岐阜県 市町村</p>
--	--------------------

<p>夏休み親子血液教室 小学生高学年を対象に、血液に関するDVDの上映や血液センターの見学などを実施する。</p>	<p>愛知県 市町村、愛知県赤十字血液センター</p>
--	---------------------------------

愛知県赤十字血液センター

現在、高等学校を中心に実施しているが、学校行事の中に組み込んでいただけないのが現状である。引き続き継続をして行く。

県教育委員会、名古屋市教育委員会、市町村、学生ボランティア

三重県・三重県赤十字血液センター

これまでは小学生を対象に取り組んできたが、高校への授業の実施にも取り組み、献血実施につなげたい。

保健所、教育委員会、動物愛護管理センター、ライオンズクラブ等との協力を得て実施する。

滋賀県

献血出前講座

県下の各種団体（ライオンズクラブ、市町献血推進協議会、事業所、学校等）の研修会等の依頼に積極的に取り組む。
教育委員会が主催する教員対象の研修会に参加

教育委員会、各県内高等学校の保健体育主事等に協力を求める。

京都府

○献血ルームでの献血ルーム見学会及び献血セミナー開催

（対象：小学生高学年とその保護者）

○若年層対象の献血セミナーの開催（対象：JRC加盟の中学・高校・看護学生）

京都府（保健所）、地域献血推進協議会

赤十字支部

大阪府

① 大学生の施設見学や中学生の社会体験事業として、職場体験受入。（中学生の職場体験実績：平成21年度5名）

② 府内小学生を対象に「献血おもしろゼミナール」を開催。

①～② 学生献血推進協議会、各市町村献血推進協議会

② 後援：大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

<p>高校生献血ボランティア推進事業において、要望に応じて資材の貸し出し・提供及び実施校の希望に応じて説明会を位置づけている。</p>	<p>兵庫県 日赤、献血推進団体他</p>
<p>小中学校を対象にした「献血出前講座」の検討及び例年実施している「こども見学会」並びに献血者を対象とした「血液センター見学会」の実施</p>	<p>兵庫県赤十字血液センター 県、市町</p>
<p>若年層へ献血啓発を目的として、夏休みに小学生及び保護者を対象とした「献血まるわかりゼミ」を実施する。 (センター事業)</p>	<p>奈良県 市町村教育委員会（チラシ・ポスターの配布）</p>
<p>・平成20年度から、県内高校生を対象に、外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらう「高校生献血学習」を行っている。（平成21年度：3回実施、対象者316人） （県・血液センター） ・高校文化祭等へ出向いて、献血に関する正しい知識の普及を行っている。 （県・血液センター）</p>	<p>和歌山県 県及び血液センターが中心となり、開催高校及びライオンズクラブ（外部講師含む）が、連携を図り実施。 （県・血液センター）</p>

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
富山県	
<ul style="list-style-type: none"> ・入学オリエンテーション等を利用した大学生等への献血への呼びかけ（6校） ・専門学校・短大で新入生の献血説明会（4校） ・医学部学生の見学会（5年生） ・3人で一緒に献血キャンペーン ・リーフレットの配布 	<p>大学・専門学校等教育現場への働きかけ。</p>
石川県	
<p>大学学園祭会場での献血キャンペーンの実施。</p>	
福井県	
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動の実施 ・臨床研修医（1年次）に対し血液センターにて血液事業のオリエンテーションを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県学生献血推進連盟 ・各臨床研修医協力病院
岐阜県	
<ul style="list-style-type: none"> ・学内のボランティア団体に働きかける。 ・大学の医学生研修を受け入れ、血液センター職員による講義などを行う。 	<p>血液センター</p>

献血啓発ポスターの掲示を依頼 学生クリスマス献血キャンペーンの実施	愛知県 各大学 学生献血連盟、愛知県赤十字血液センター
--------------------------------------	-----------------------------------

医科大学、看護大学、医療専門学校等での献血実施と血液センター施設見学の受け入れ実施。 学生献血連盟加入の学生を通じた学内での献血PR活動を実施。	愛知県赤十字血液センター 各大学内学生担当課、またはボランティアサークル等担当者。
---	--

学生献血推進協議会の設立	三重県・三重県赤十字血液センター 県内の大学献血時にボランティアサークルのメンバーに啓発協力の依頼を行う。 大学病院で献血実施時に研修医に献血の経験をして頂く。
--------------	--

血液センターの近隣大学のクラブ・サークルなどへ働きかけ、大学内での献血受付窓口の設置を継続して実施。 大学生に対して、地域貢献活動のひとつとしての献血を働きかけ、活動内容をホームページで紹介していく。 大学、看護学校等に対する働きかけを進める。	滋賀県 県内の大学等に協力を求める。
--	-----------------------

○大学・高校での薬物乱用予防教育等、様々な機会を活用した献血啓発の強化と献血推進 ○大学献血実施時に比重不足者に対する「栄養相談事業」の実施 ○看護学生を対象に献血ルームで献血に対する講義と献血体験学習の実施	京都府 大学、高校 大学（大学担当者への栄養相談事業への説明・協力依頼） 看護学校
--	--

大阪府

<p>① 「はたちの献血」、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」広報用ポスターを府内大学、短期大学に配布。</p> <p>② 学生献血推進協議会メンバーの血液管理センター見学。 (平成22年3月10日、20名)</p> <p>③ 学生献血推進協議会による街頭キャンペーン。(実績:平成22年度8回程度)</p> <p>④ 医療関係の学校に対して、血液センター施設見学会を積極的に招致。</p>	<p>①～③ 学生献血推進協議会</p>
---	----------------------

兵庫県赤十字血液センター

<p>兵庫県学生献血推進協議会の研修会及び研修医、医科大学生、看護学生等の校外学習の受け入れ</p>	<p>兵庫県学生献血推進協議会</p>
--	---------------------

奈良県

<p>大学キャンパス内において、献血を実施するとともに、学生献血推進協議会と連携して学生による献血啓発を行い、啓発を含めた自主的な献血参加を促す。(県事業)</p> <p>若者献血推進に向けて、学生献血推進協議会等の献血啓発協力者を対象とした研修会を実施する。(県事業)</p>	<p>血液センター・大学・学生献血推進協議会等</p>
---	-----------------------------

和歌山県

<p>・大学や医療関係の学校での献血実施時に、献血推進啓発を行っている。(血液センター)</p>	<p>血液センターが中心となり、各学校及び県学生献血推進協議会が連携を図り実施。(血液センター)</p>
--	--

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>・はがきでの依頼 (原料血漿確保)</p>	<p>富山県</p>
<p>69歳までの献血を可能にするため、60歳を迎えた献血経験者を対象に依頼の文書を発送する。</p>	<p>石川県</p>
<p>・地域の壮年会等への協力依頼</p>	<p>福井県 ・地域の壮年会等</p>
<p>献血経験のある50～60歳代の方を対象に、葉書により献血依頼を行う。</p>	<p>岐阜県 血液センター</p>
<p>○1月から3月にかけて、民法ラジオ (AM、FM) で放送する情報提供コーナー (約3分間) の中でテーマとして取り上げる。</p>	<p>静岡県 県内ラジオ局</p>
<p>ホームページへの掲載 啓発資材の配布 ポスターに採血基準の記載</p>	<p>愛知県 啓発資材、ポスターの配布先 (保健所、薬剤師会等)</p>
<p>60歳代の献血協力者を対象に、年間1回から2回、献血の協力依頼ハガキを送付し、献血への働きかけを実施する。</p>	<p>愛知県赤十字血液センター</p>

三重県・三重県赤十字血液センター

服薬の基準を再度お知らせする。 献血実施の際の血液検査項目のPR	
-------------------------------------	--

兵庫県赤十字血液センター

定年による（企業内）献血ばなれを回避するため献血を継続いただく依頼文書の発送を検討	
---	--

和歌山県

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 「薬の正しい使い方」「薬物乱用防止」等の講習会実施時に、併せて献血推進啓発の講習を行う。 （県） ・ 50歳以上の既献血者に対し毎年ハガキ等による献血依頼を行っている。 （血液センター） ・ 献血推進講演を自治会等で行っている。 （血液センター） | 血液センターが中心となり、ライオンズクラブ及び県日赤奉仕団との連携により実施。 （血液センター） |
|---|--|

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)</p>
<p>・イベントで献血の待ち時間に、雑誌閲覧及びビデオ鑑賞の場の提供(献血バス)</p>	<p>富山県 —</p>
<p>・血液センター内の献血ルームをリニューアルし、血液センターの外壁に献血ルームの名称を掲示する等、遠くからでも分かりやすい施設とした</p>	<p>福井県</p>
<p>母体(岐阜県赤十字血液センター)待合室の備品が老朽化しているためリニューアルし、イメージアップを図る。</p>	<p>岐阜県 血液センター</p>
<p>現在のバスは車両が低いため、坂や段差では進入できないこともあるため、車高を上昇させる機能が必要。</p>	<p>三重県・三重県赤十字血液センター</p>
<p>血液センターの改装予定。 献血ルームの設置についての検討。</p>	<p>滋賀県</p>

新規オープンする「なんばルーム(仮称)」については、大阪らしい名称やイベントを検討中。	大阪府
移動採血車のラッピング及び献血ルームの改修、設備の充実	兵庫県赤十字血液センター
積極的に「タッチ」や「ハーディア」等の献血推進キャラクターを活用する。イベントで「タッチ」の着ぐるみを使用する等。 (県事業)	奈良県 血液センター